

2025年12月期 第1四半期決算説明資料

STOCK CODE : 3695

GMO RESEARCH&AI

代表取締役社長 萩田 剛大

専務取締役CFO 森 勇憲

2025年5月

アジェンダ

- ・ 業績ハイライト
- ・ タウンWiFiについて
- ・ 今後の事業方針



1. 業績ハイライト

本資料ではGMOリサーチ＆AI社の1Q業績を開示
GMOタウンWiFi社の1Qは連結前だが、参考情報として開示



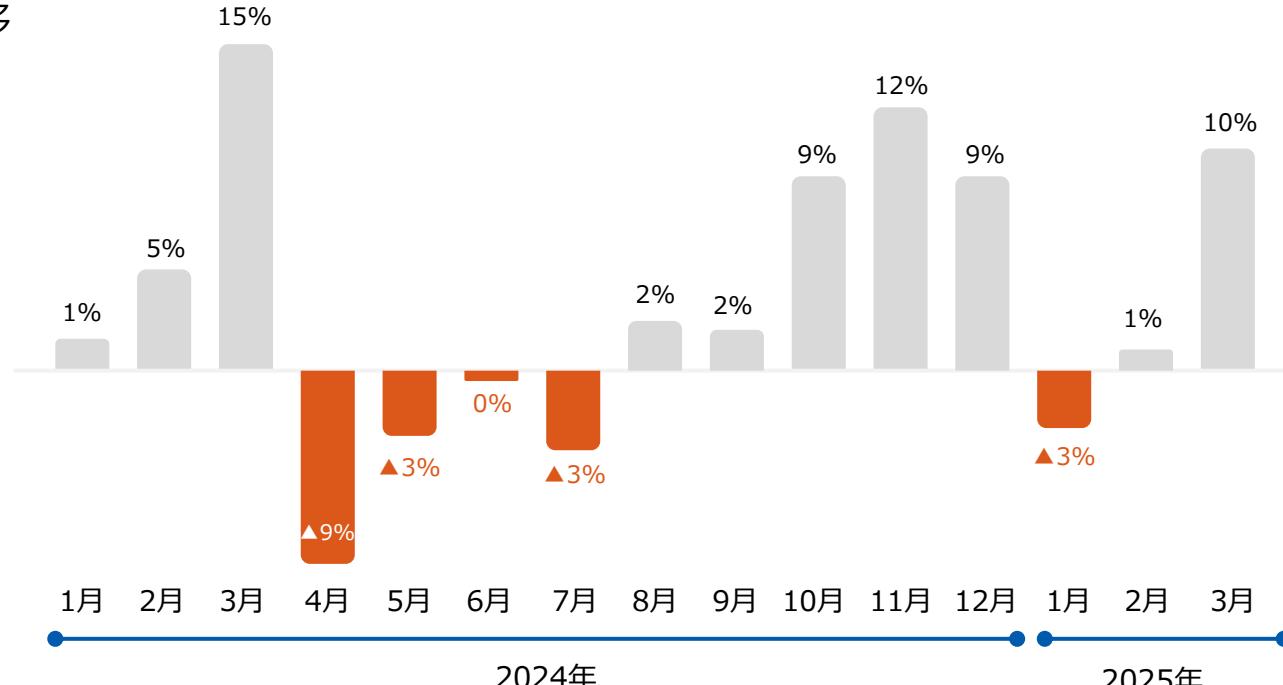
国内事業における競争環境の激化により、売上高と利益が減少

(百万円)	FY24 1Q	FY25 1Q	増減額	増減率
売上高	1,361	1,318	▲43	▲3%
営業利益	119	▲89	▲209	-
統合費用※ (一過性)	-	156	-	-
営業利益 (統合費用除く)	119	66	▲53	▲45%
経常利益	122	▲97	▲219	-
最終利益	92	▲67	▲159	-

※統合に伴う株式交換比率を決定するためのDDの費用等

労働集約型ビジネスなので固定費負担が重く、売上減少が利益を直撃
1Qにおいては、競争環境の激化により、利益率が悪化

営業利益率の推移



※2025年は統合費用除く

プロダクト型の事業モデルへと構造改革を実施中

現在		構造改革後イメージ
事業モデル	労働集約型	プロダクト型
差別化	困難	プロダクト改善を通して可能
利益率	低	高

構造改革の見通しがつき次第
速やかに通期業績見通しを発表

プロダクトのUX改善と堅調な広告トレンドによって大幅成長

参考開示

(百万円)	FY24 1Q	FY25 1Q	増減額	増減率
売上高	406	817	+411	+101%
営業利益	86	317	+231	+268%
経常利益	85	311	+226	+265%
最終利益	85	193	+108	+127%

単純合算すると増収増益（統合費用をのぞくと+86%）

参考開示

(百万円)	FY24 1Q	FY25 1Q	増減額	増減率
売上高	1,768	2,135	+366	+20%
営業利益	206	227	+21	+10%
統合費用※ (一過性)	-	156	-	-
営業利益 (統合費用除く)	205	383	+177	+86%
経常利益	208	215	+7	+4%
最終利益	178	126	▲51	▲39%

※統合に伴う株式交換比率を決定するためのDDの費用等

2. タウンWiFiについて

フリーWi-Fiに簡単に接続でき、ポイントも貯められるアプリ

① フリーWi-Fiに簡単に接続

街中のフリーWi-Fiに、面倒な登録手続き不要で簡単に接続できる

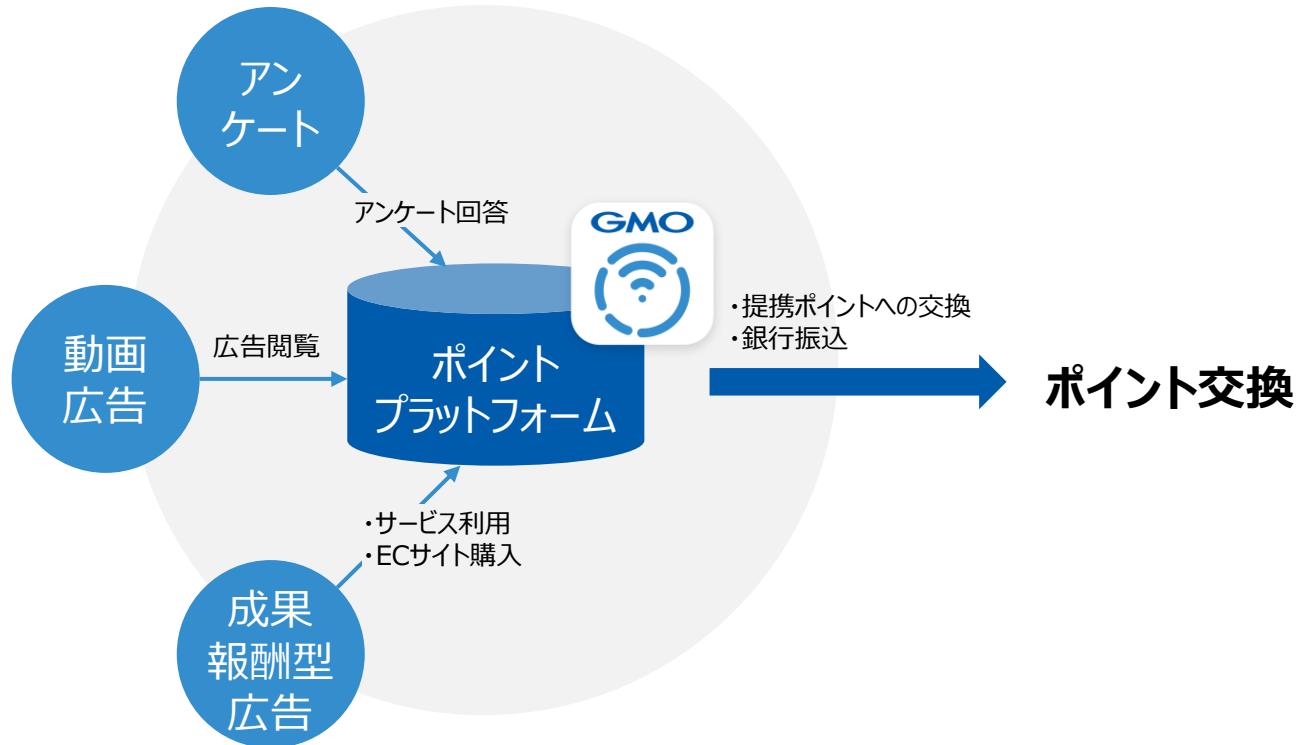


② ポイントが貯まる

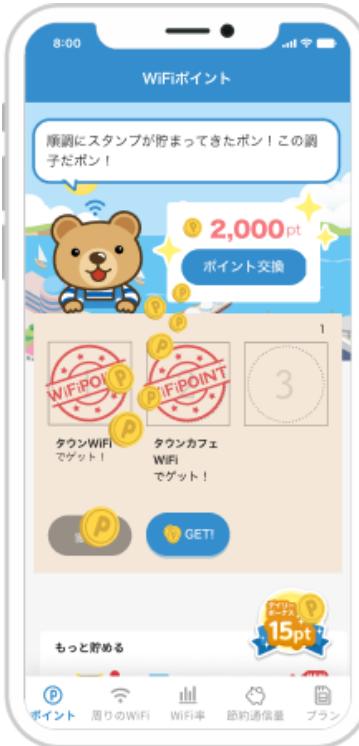
Wi-Fiにつなぐとスタンプが貯まり、広告を見るとポイントに変わる



一般的なポイ活アプリと同じ、広告やアフィリエイトモデル



一般的なポイ活アプリと違い、UXを向上する手段としてのポイント



アプリを使う
主目的

ポイントの
位置づけ

UX

タウンWiFi

通信量節約

ついでの
お得感の醸成

簡単にWi-Fiに接続
+
ポイントも貯まる

一般的なポイ活アプリ

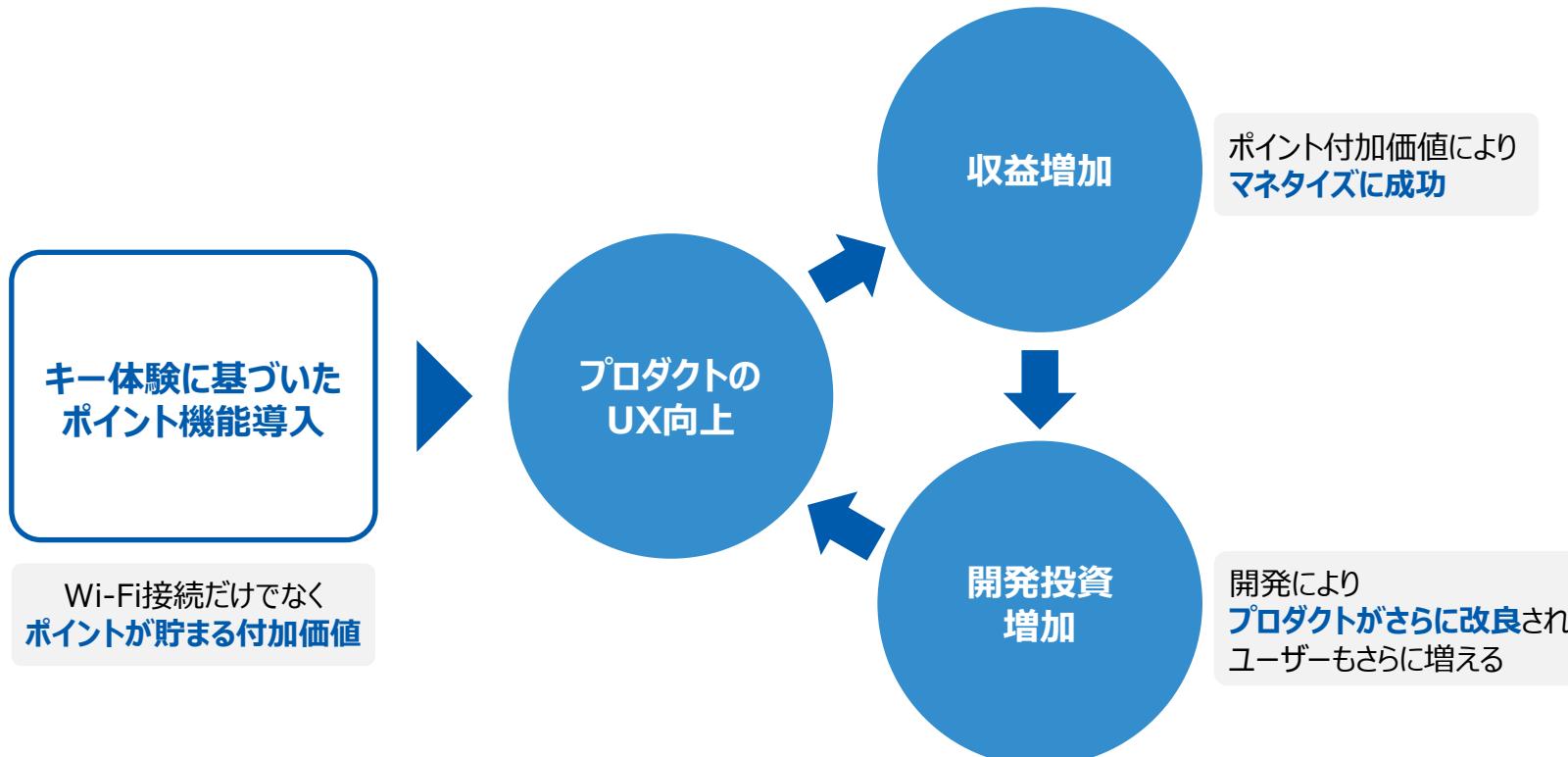
ポイントの獲得

使い続けてもらう
金銭的動機づけ

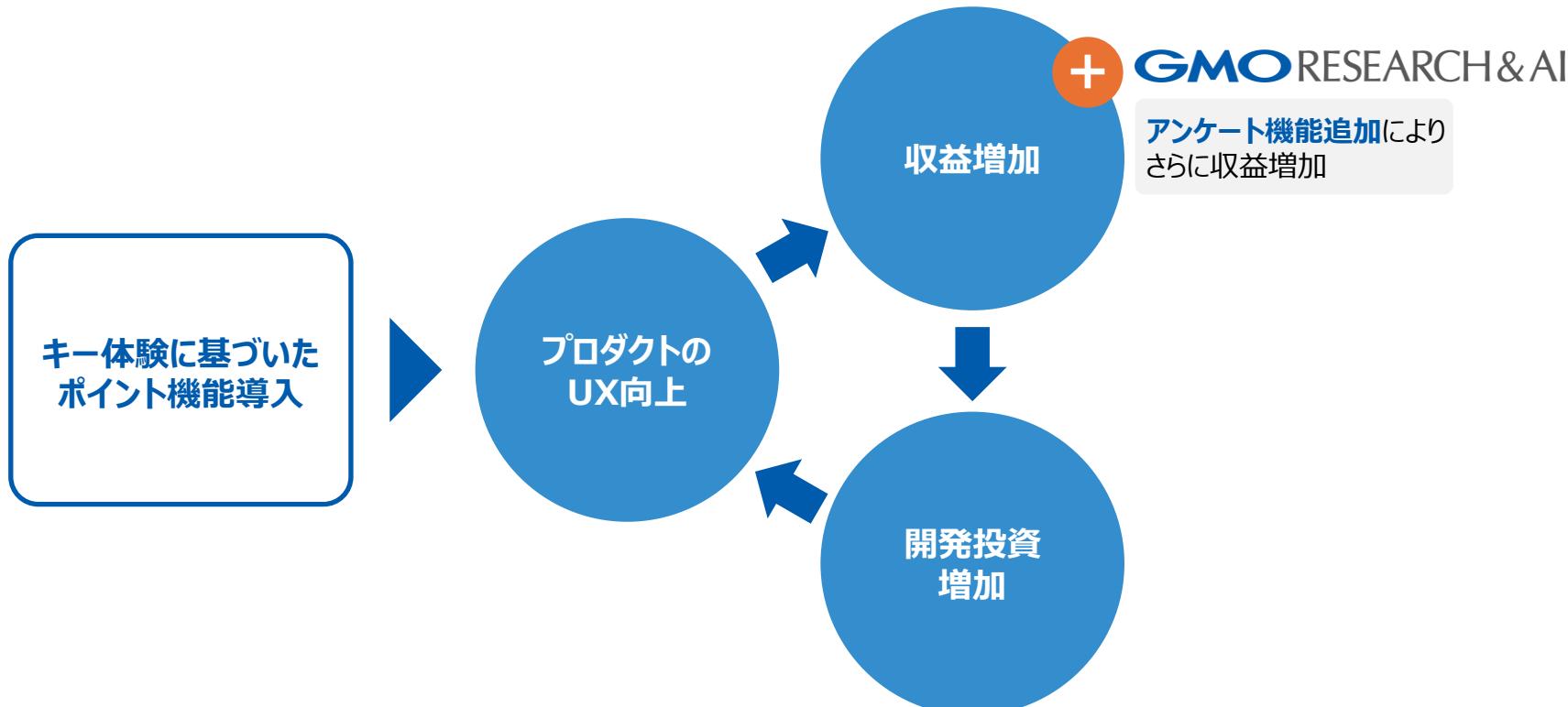
ポイントが貯まる

3. 今後の事業方針

ポイント機能導入により、UX向上とマネタイズに大きく成功



アンケート機能の取り込みにより、さらに収益化を実現する



GMOプロダクトプラットフォーム社として
タウンWiFiでの成功事例を
様々なプロダクトに展開していく